

令和7年度第1回すみだタウンミーティング 実施報告書

テーマ

すみだのシティプロモーションってなんだろう？

実施日時・会場

令和7年8月22日（金） 午後6時30分～8時30分

すみだリバーサイドホール 2階 イベントホール（墨田区役所併設）

対象者

墨田区在住・在勤・在学者

参加人数

出席者 39人、見学者 2人

当日実施概要（内容の詳細は議事録を参照）

（1）ゲストトーク

ファシリテーター有限会社ハッテンボール 外山 夏央氏

地域全体での協働による情報発信「もっと伝わる・もっと伝え合う」

（2）グループワーク

テーマ：「もっと伝わる・もっと伝え合う」ためには、どうしたらよいか？

<視点1>【何を】今みんなに自分が伝えたいと思ったこと

<視点2>【どうやって】それをどうやって？誰に？伝える

<視点3>【もっと広げるには】協力してもらいたいこと

（3）発表・区長コメント

（4）区長総括

各班の発表内容（一部抜粋。詳細は議事録を参照）

A班

- 区民向けのイベントがもっと必要であり、その上で多くの人々の協力が必要なため、タウンミーティング等を通して、区のことを考える人を増やしていくべき。
- シティプロモーションの法人化・常設化や、区内施設等での意見交換会をたくさん開催することにより、会議の中から徐々にアイデアが生まれ、行動が生まれるのではないかと。
- 墨田区の子どもたちがシティプロモーションに関わって、魅力を発信することで、ずっと墨田区にいたいと思えるようになると良い。

B 班

- 皆さんが気づいていない墨田区の魅力や素晴らしい施設を伝えたい。
- 伝える方法として、一つは、 SNS やマスメディア、Web 媒体、掲示板などを活用すること。
もう一つ、とても大事なことは、このような場でリアルに話し合うこと。また、情報弱者の方に届けるうえでも、リアルな対話は必要である。

C 班

- 28万人が広報員になる場合、タウンミーティングに参加した濃厚な人と、墨田区に住んでいる「だけ」の人とのグラデーションをどのように作り、情報を知らない人にどう届けるのか。
- 墨田のシティプロモーションはプライドを持って責任、覚悟を持つこと。多様性が墨田らしさ。
- 墨田の愛にあふれている人たちは大体5,000人。残りの区民(27万5千人)に対して墨田区人脈ブースタ(関りという名の圧力)で28万人に広める。

D 班

- 墨田区の課題解決力について指摘
- 団体やメディア等を使い、自分たちのリソースを活かして周りに伝えていく

E 班

- 墨田区の良いところを住んでいる人々(町会、学生、高齢者、子育て世代)へ伝えたい。
- 趣味、同世代、長く住んでいる人、学生等、本当に小さい一歩で繋がればいい
- 28万人が一歩踏み出せば大きな変化になる、地域のつながりを大事にしたい

添付資料

- 1 アンケート集計結果
- 2 議事録

